

教室に行くことができない、行きづらい子どもの「学びたい」という思いをサポートします

市では、国の不登校対策に基づき、子どもの状況に応じて「学びたい」と思ったときに学ぶことができる環境の整備(学びの場や居場所の提供)に取り組んでいます。

一人一人に合った学びの場や居場所

● 学校内の施設

登校できても、他の児童生徒と一緒に授業を受けるのが難しい子どものため、学校では教室以外の学びの場や居場所の整備を進めています。

例えば城西中学校では、スペシャルサポートルーム「にじいろ教室」が設置され、学習の場所の選択肢の一つとなっているほか、地域の人を講師に招き、フラワーアレンジメントや陶芸などのイベントも行っています。



城西中学校の「にじいろ教室」

● 学校以外の施設

学校以外の学びの場として、市では「子ども未来サポート CoCoMo」を運営しています。学習教材を持参して自主学習ができるほか、オンラインで学校の授業に参加することもできます。また、指導員とのレクリエーションを通じたコミュニケーションや相談により、子どもにとって安心して過ごせる居場所となるよう努めています。



「CoCoMo南」でのレクリエーション

子ども未来サポート CoCoMo

◆開室場所

CoCoMo 南＝シルバープラザ上越 4 階

CoCoMo 北＝直江津学びの交流館 1 階

◆開室時間

毎週月曜日～金曜日(祝日を除く)

午前 9 時 15 分～正午、午後 1 時～3 時 30 分

詳しくは



● フリースクールなどの民間施設

市内には、社会福祉法人が運営する「やすづか学園」をはじめ、民間事業者が運営しているフリースクールが増えてきています。

市では、子どもの学校復帰や社会的自立を支援するため、こうしたフリースクールなどの利用に係る経費の一部を支援しています。

詳しくは



社会福祉法人が運営するフリースクール「やすづか学園」での活動

令和 8 年 4 月に

中学生を対象とする「学びの多様化学校」を開校します

学校に行けない、または行きづらいけれど「学校で学びたい」という意欲を持った中学生の思いを支えるために、新たに学校を開校します。特別な教育課程を編成し、地域の皆様のご協力や上越教育大学の支援を受け、子どもたちが自立して生きる力を育てていくことを目指します。



開校日 令和 8 年 4 月 1 日(予定)

名 称 上越市立諏訪中学校(旧諏訪小学校の校舎を活用)

生徒数 24人程度(各学年 6～8人)

詳しくは



特集

不登校支援

子ども一人一人に学びの場を

■問合せ…学校教育課(☎025-545-9244)

教育総務課(☎025-545-9243)



上越市の不登校児童生徒数は、全国の傾向と同様に年々増加しています。子どもが不登校になる原因はさまざまですが、「学校生活にやる気が出ない」などの理由が多く、原因がはっきりしていないことが多い傾向にあります。また、登校できても教室で授業を受けることができない子どももいることから、「不登校児童生徒数」として表れる人数以上に悩んでいる子どもがいます。このような中、不登校となっている子どもの教育を受ける機会を確保するため、多様な「学びの場」が必要とされています。

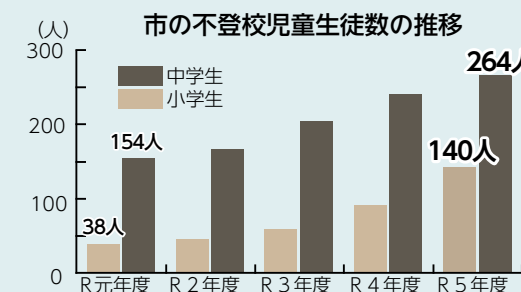
今号では、不登校となっている子どもの現状と、子どもをサポートする市の取り組みを紹介します。

市の不登校の現状

上越市の小・中学校の不登校児童生徒数は、令和 5 年度に合わせて 404 人と過去最多にのびりました(令和元年度との比較で小学生は約 3.7 倍、中学生は約 1.7 倍)。

中学校では、小学校に比べ不登校の発生が多く、特に中学 1 年生で急増する傾向にあります。

※不登校児童生徒＝年間 30 日以上欠席した人のうち、病気や経済的な理由によるものを除いた人



ご存知ですか

不登校への考え方は変わってきています



- 「不登校」はよくないこと?
- 学ぶ場の選択肢は少ない?



- 「登校」だけが目標ではない
- 全ての子どもが学びへアクセスできる環境や働きかけが大切

一人一人の子どもの状況に合わせた支援が必要

まずは子どもの本音に耳を傾けてみる大切です。

その上で「相談する」「安心する居場所を見つける」「教室以外の学び場を見つける」ことを考えてみませんか。

学校以外にも相談場所があります

◆上越市立教育センター(対面・電話・メール相談)

◎中央教育相談所(教育プラザ内) ☎025-545-9247

◎南相談所(シルバープラザ上越 4 階) ☎025-522-2428

◎北相談所(直江津学びの交流館 1 階) ☎025-545-0780

◆子どもほっとライン(電話相談)

24時間相談受付 ☎025-543-2199

児童生徒も、保護者も相談する場所があります一緒に考えてみませんか

詳しくは



学校教育課
丸山 指導主事